

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成30年度相模原市市史編集委員会				
事務局 (担当課)		博物館 市史編さん班 電話 042 - 750 - 8030				
開催日時		平成30年7月27日(金) 午後2時～3時30分				
開催場所		相模原市立博物館 小会議室				
出席者	委員	6人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	市職員	5人(生涯学習部長、博物館長他 計5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 平成29年度及び平成30年度市史編さん事業の実施状況について(報告) (2) 相模原市史続編の刊行終了について(報告) (3) その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。 (は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開 会

2 あいさつ

生涯学習部長及び博物館長あいさつ

3 議 題

委員長欠員により副委員長に議事進行をお願いすべきところ、副委員長も急病により欠席の為、事務局が進行を行なうことについて出席委員の了承を得た。

各議題について事務局から報告・説明し、それぞれ質疑応答を行った。

(1) 平成 2 9 年度及び平成 3 0 年度市史編さん事業の実施状況について (資料 1 - 1、 1 - 2)

事務局から、平成 2 9 年度市史編さん事業実施結果、平成 3 0 年度市史編さん事業実施状況、市史・町史刊行物の販売状況について報告。

市史続編の刊行終了に伴い、市史編さん審議会はどうなる見込みか。将来の新たな市史編さんに備え、市史編さん審議会を存続させるという考え方もあると思う。

現在、庁内関係部署と審議会の存続の要否等について検討中である。

平成 2 9 年 1 2 月に提出された、「市史編さん事業の今後のあり方に関する意見書」に対する市の対応はいかがか。

総務局長や教育局長をはじめ関係職員が出席した。総務局長からは、市では、公文書館を開設するなど、庁内的にも歴史的公文書をはじめとした後世に市の歴史を伝える為の資料類保存の意識が高まっており、市史編さん関連資料類を適切に収集・保存・整理していくことについては、その必要性を当方も認識している、との発言があった。

市史編さんの過程で収集された資料類の整理やデータ化の作業等は、いつ頃までかかるのか。また、その作業に従事する人員確保はできるのか。

収集された資料が多岐にわたり、大量に存在する為、それらの整理やデータ化作業等は来年度以降も継続する必要がある。それに係る職員配置に関しても、人材確保等の課題があるため確定的な回答はできないが、要望をしているとこ

ろである。

市史続編以外の津久井、相模湖、城山、藤野の各町史についても、当初の刊行予定分の刊行は終了しているか。

平成30年3月に『文化遺産編』の刊行をもって、津久井町史の刊行は終了した。これをもって各町史の刊行はすべて完了したことになる。

すべての刊行が完了した今、既刊の市史、市史続編、各町史の記載内容について再確認し、分野ごとに整理して内容の整合性の検証を行なうべきと考える。この結果をもとにして、将来の新たな市史の編さんに生かしていただきたい。

将来、新たな市史の編さんを行う場合は、合併後の市域が対象となると考えられるので、そのことを念頭に置きつつ検討をすすめていきたい。

来るべき新たな市史編さんに向けて、市民・民間団体と行政側が連携して資料の発掘、収集に努める体制作りが必要である。市役所内部においても、事務局が各部署に対して必要な資料作成を依頼するなど、積極的な資料収集に努めるべきであろう。

市民に対する普及活動の一環として、付帯刊行物「市史ノート」の後継となるような刊行物の発行を検討してほしい。

今後の、資料の収集、整理業務及び市民の皆様への普及活動の方法を考えるうえでの貴重なご意見として承っておきたい。

議題(1)については、以上でよろしいか。

(了承)

(2) 相模原市史続編の刊行終了について(資料2)

事務局から、市史編さん事業の経過、市史続編に係る刊行物について報告。

市史続編の刊行にかかった経費は合計でどの位になるか。

平成13年度から平成29年度までの決算ベースで合計すると、約3億7,300万円となる。主な内容は、非常勤特別職に対する報酬、原稿執筆謝礼、刊行物の印刷製本費等である。

市史続編に係る刊行物が、本編及び付帯刊行物を含めると計34種類になるという説明があったが、市民の皆さんにこれらの刊行物をアピールし、利用していただくためにも、刊行物を一覧できるパンフレット等を作成して普及活動

に努めたらいかがか。

10月7日に開催予定の市史講演会においては、市史編集委員会委員の一員として「相模原市史続編の編さんとその成果」という演題で講演を行う予定である。その際にも、市史続編について参加者の皆さんにアピールしたいと考えている。

今後も、普及活動の一環として、市史講演会や市史に係る展示等の実施を継続して実施してほしい。

10月7日開催予定の市史講演会に先立ち、9月上旬から市史続編に関連する資料のミニ展示を実施する予定である。また、今後の市民の皆様への普及活動のあり方についても検討をしていきたい。

議題(2)については、以上でよろしいか。

(了承)

(3) その他
なし。

4 閉 会

以 上

相模原市市史編集委員会出席名簿

(任期：平成28年8月1日～平成30年7月31日)

平成30年7月27日開催 平成30年度相模原市市史編集委員会

職	委員氏名 (敬称略・50音順)	関係役職名	出欠
委員	いしい たかむら 石井 篁	元相模原郷土懇話会会長	出席
委員	いわの ひでとし 岩野 秀俊	日本大学生物資源科学部特任教授	出席
委員	おがわ なおゆき 小川 直之	國學院大学文学部教授	欠席
委員	かとう おさむ 加藤 修	元相模原市文化財保護審議会会長	出席
委員	かんざき あきとし 神崎 彰利	元相模原市文化財保護審議会委員	欠席
委員	くりた ひさや 栗田 尚弥	國學院大学文学部講師	出席
副委員長	しみず ひろし 清水 擴	東京工芸大学名誉教授	欠席
委員	はまだ ひろあき 浜田 弘明	桜美林大学人文学系長・教授	出席
委員	まちだ ひろし 町田 洋	東京都立大学名誉教授	出席

委員総数9名中、出席者計6名

(欠員) 委員長	(故) きんばら さもん 金原 左門	中央大学名誉教授
-------------	-----------------------	----------

金原左門委員長のご逝去により、委員長は欠員。